

2 自律した自治体型の区政運営

(2) ア	多様な区民の意見やニーズを区政に反映するとともに、区民による区政の評価を行うことのできる仕組みづくり 多様な区民の意見やニーズを区政に反映することのできる仕組みづくり	<取組所管> ・取組①②：区
----------	--	-------------------

□ 3年間の取組と成果の総括

<ul style="list-style-type: none"> 区長と地域住民との懇談、アンケート調査、区役所への意見箱の設置など、各区において、多様な区民の意見やニーズを的確に把握するための仕組みづくりに取り組んだ。 成果目標の達成には至らなかったものの、こうした取組についてホームページや掲示板等で周知するとともに、区民から寄せられた意見の内容や区役所の対応結果等を公表するなど、各区で積極的な情報発信の取組が進んだ。
--

□ 3年間の取組状況

※次ページ（各区の状況）を参照。
【取組の実施状況】 取組①：A 24区、取組②：A 24区

□ 成果目標の達成状況

目 標	実 績	評価区分
多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合	平成26年度 各区平均 19.2% (各区内訳) 10%台 16区	②
平成26年度までに全区で80%以上	20%台 7区	
	30%台 1区	

□ 課題と今後の方向性

※次ページ（各区の状況）を参照。

【評価区分の凡例】

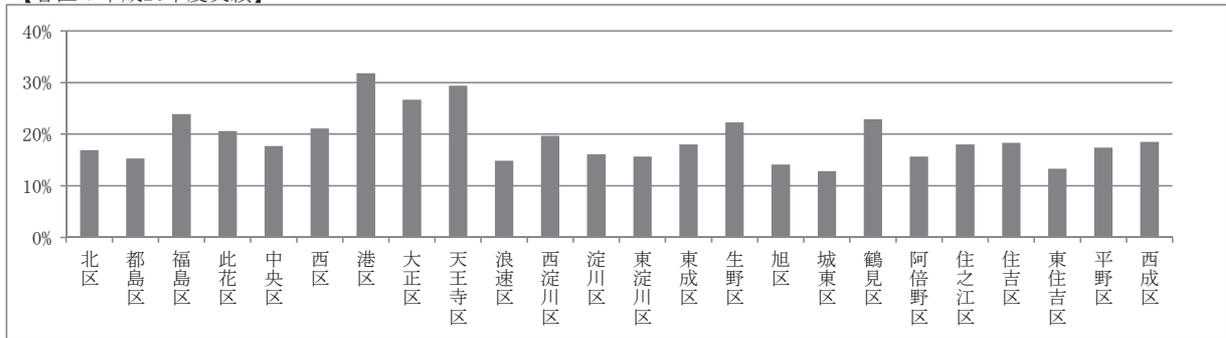
〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった
〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

2 (2) ア 多様な区民の意見やニーズを区政に反映することのできる仕組みづくり

(取組①②)

【目標(A)】多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合
平成26年度までに全区で80%以上

【各区の平成26年度実績】



	3年間の取組状況			成果目標の達成状況			課題と今後の方向性
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)	評価区分	
北区	①	<ul style="list-style-type: none"> インターネット・来訪・電話・FAX・ご意見箱などによる市民のニーズ把握（市民の声等） 区民アンケートの実施 「区政についての区民評価」 回収率 H24 77.7% H25 64.2% H26 35.5% 「北区の広報について」(H26) 回収率 37.3% 区長サロン (H24: 6回開催、H25: 7回開催) タウンミーティング (H24: 4回開催、H25: 2回開催) 	A	16.9%	21.1%	②	<ul style="list-style-type: none"> 区長サロンとタウンミーティングは、公募区長と市民が直接、意見交換を行う貴重な場として活用に努めたが、結果として適切な意見、要望が得られず、また、平成25年度中に公募区長退職に伴い再構築の必要があり、廃止した。 平成24～25年度は、区民モニター（約300人）によるアンケート実施、平成26年度は無作為抽出による区民1,500人へのアンケート実施であったため、回答率が減少した。 今後の課題として、改善につながる情報の精査を進めるとともに、アンケートの回収率を上げるために、実施時期などを検討する必要がある。
	②	<ul style="list-style-type: none"> 市民の声等、各種広聴媒体により得た情報をすみやかに広報紙やホームページを通じて発信した。また、関係局や他区に対しても、必要な情報は伝達し、情報共有するよう努めた。 	A				
都島区	①	<ul style="list-style-type: none"> 区民アンケートでは、実施方法を見直し、無作為抽出による1,500人を対象とするアンケートを実施 区長が、区民のもとに直接お話し、施政方針などを説明する「区長タウンミーティング～龍生と話そう」を実施 	A	15.3%	19.1%	②	<ul style="list-style-type: none"> 実績数値が目標を大幅に下回っている。 中長期の取組が必要であるが、無作為抽出による区民アンケートなどで、サイレントマジョリティなど区民の意見・ニーズを把握し、施策に反映していく。
	②	<ul style="list-style-type: none"> 各事業でツイッターやフェイスブックなど、SNSによる双方向コミュニケーションの活性化を図り、若い世代など幅広い区民の意見やニーズの把握に努めた。 毎月発行する広報誌、ホームページなどで、行政サービスや地域活動などの情報をタイムリーに分かりやすく提供するよう努めた。 	A				

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

【取組の実施状況】 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

【成果目標の達成状況】 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

2(2)ア 多様な区民の意見やニーズを区政に反映することのできる仕組みづくり

	3年間の取組状況			成果目標の達成状況			課題と今後の方向性
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)	評価区分	
福島区	①	・年複数回、区民モニターアンケートを実施した。 ・区内各施設へのご意見箱の設置と、受け付けた意見に対する回答の掲示をした。	A	23.9%	29.9%	②	・モニターアンケートを複数回実施したり、ご意見箱を設置したりするなど、広聴ツールの充実を図ってきたが、目標達成には至っていない。今後は、ご意見箱の設置場所での表示の工夫や、広報の強化を図り認知度の向上を図ることで、区民へ広聴機能が充実してきていることをアピールする。
	②	・区内各施設へのご意見箱の設置と、受け付けた意見に対する回答の掲示をした。	A				
此花区	①	・若い世代からの意見を聴く観点から、区内3中学校の生徒の代表と区長との意見交換（「区長と語ろう」）を行った。 ・地域活動に関心のある人や地域で活動している人たちが、関心のあるテーマについて意見交換や話し合いなどの交流を行う場として、「このはなブランドラウンドテーブル」を開催した。 ・市民からの要望、提案による改善事例を区ホームページにおいて区民に広く情報発信した。	A	20.6%	25.8%	②	・区民の多様な意見やニーズをくみ取るため、区民にとって広聴手段を活用しやすくするための工夫やその周知を図るとともに、区政運営に関するわかりやすい情報発信を行う。
	②	・区内3中学校の生徒の代表と区長との意見交換「区長と語ろう」について、区の広報紙及び区ホームページ等において区民に広く情報発信を行った。 ・「このはなブランドラウンドテーブル」について、区民に広く情報発信を行うとともに、開催結果をホームページに公開したほか、その意見を反映した取組を実施した。 ・市民からの要望、提案による改善事例を区ホームページにおいて区民に広く情報発信した。	A				
中央区	①	・区政会議の開催を通じて区政についてのさまざまな意見等を聴取し、意見を踏まえ予算に反映した。 ・区民モニターアンケートを実施し、より幅広い区民ニーズを把握した。 ・来庁者が気軽に意見を提案できるよう「ゆめまるくんのアイデアBOX（ボックス）」を設置した。	A	17.7%	22.1%	②	・多様な区民のニーズを的確に把握し、区の特性や地域の実情に応じた区政運営を展開していく。
	②	・区政会議の議事録や資料等について区ホームページに掲載し、区民情報コーナーでも公開した。 ・区民モニターアンケートの結果を区ホームページで公開した。 ・「ゆめまるくんのアイデアBOX（ボックス）」に寄せられた意見について、区役所の対応を区ホームページで公開した。	A				
西区	①	・区民モニターアンケートでは、内容によってアンケート対象を絞るほか、窓口来庁者へアンケートをとるなど、目的にあったニーズを把握するための工夫を行った。 ・区民モニターアンケート結果の施策・事業への反映結果を「見える化」するため、ホームページに掲載した。 ・西区内で活動する多種多様なグループ・サークルを対象に「ぶらっと訪問！～キテ！ミテ！高野区長～」を実施し、区政に活かすための意見・提案を聞いた。 ・効果的なアンケートになるよう「マーケティングリサーチ研修」を区役所職員対象に実施した。 ・多様な保育ニーズを把握するため、病児保育について保護者にアンケートを実施し、事業立案につなげた。	A	21.1%	26.4%	②	・区民の意見やニーズが届いていると実感してもらうため、区民モニターアンケートの施策反映状況の「見える化」をすすめる。
	②	・「ぶらっと訪問！～キテ！ミテ！高野区長～」については、広報紙やホームページ等で広く募集するとともに、訪問していただいた意見や区役所の回答などをホームページで公開した。 ・来庁者に対し、シール投票や紙アンケートを使って、満足度調査等を行い、その結果や分析、意見の施策への反映について、区ホームページで公開した。	A				

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

2(2)ア 多様な区民の意見やニーズを区政に反映することのできる仕組みづくり

	3年間の取組状況		成果目標の達成状況			課題と今後の方向性	
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)		評価区分
港区	①	<ul style="list-style-type: none"> ・区民モニターアンケートを実施するほか、市民の声、みなと改善箱に加えて、区長による出張型意見交換会、フェイスブック、ツイッターなどにより多様な区民の意見やニーズを的確に把握し区政に反映した。 ・区民モニターアンケートのモニター数を400人から1,000人へ拡大。 ・みなりんプロジェクト（区民モニター、ホームページ、ツイッター、フェイスブック、市民の声、「みなと改善箱」、来庁者アンケートなど）を実施し、区民の意見やニーズの把握に努めた。 ・「市民の声」を全件公表するとともに、「みなと改善箱」に対する回答をホームページ及び区庁舎内に掲示した。 ・地域活動協議会の代表者や公募の区民等による「区政会議」において、区の施策や事業についての意見や評価をいただいた。 ・区民の意見を区政運営により反映させるため、区政会議の公募委員を大幅に増やすとともに、区が行うコミュニティ事業について検討する「コミュニティ育成会議」についても企画立案段階から区民の意見・ニーズを反映するために公募委員の参画を得ている。 	A	31.8%	39.8%	②	<ul style="list-style-type: none"> ・成果目標の達成に向けて順調に進捗したとはいえない。これまで区政にあまり関心のない区民への情報発信を強化することで、多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じる区民の増加を図る。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な区民の意見やニーズを区政に反映するための①の取組を区広報紙、ホームページ、ツイッター等のSNSも活用して区民に広く発信した。 ・より多くの区民の意見・ニーズを把握するため、区民モニターアンケートのモニター数を400人から1,000人へ拡大した。 ・「区民編集会議」を毎月開催して、区広報紙の編集について、区民の意見・ニーズを反映させている。 ・「区政会議」における、区の施策や事業についての意見や評価について、区役所の取組、考え方をまとめてホームページに公開した。 ・窓口サービスに関するアンケートに関して、港区のサービス改善に向けた取組の紹介等を区長会でを行った。 	A				
大正区	①	<ul style="list-style-type: none"> ・区民モニターや区政会議を行うとともに、ラウンドテーブルも開催し、多様な意見の聴取を行った。 	A	26.7%	33.4%	②	<ul style="list-style-type: none"> ・区役所に意見が届いていると感じている割合が低いと、各地域において、区政の説明会を行い、意見聴取も行っていきたい。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・区民モニターの結果や区政会議の内容について、ホームページで資料を公開し、ツイッターでも情報発信を行っている。 	A				
天王寺区	①	<ul style="list-style-type: none"> ・区民との直接対話により区政運営にかかる意見や評価をいただくため、「あなたの声をつなげ隊」を区役所職員により結成し、区民の意見を積極的に聴取、集約した。 ・また、区独自のPD“L”CAサイクル（“L”=Listen）を導入し、聴取した区民の意見を今後の事業展開や予算に反映させることができた。 	A	29.4%	36.8%	②	<ul style="list-style-type: none"> ・区民の意見の施策等への反映状況の“見える化”が課題であるため、区広報紙やホームページ等を活用し、分かりやすい情報発信に努める。区民の意見を反映できない場合は、その理由を明確にして説明責任を果たす。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・区ホームページや区広報紙などで、いただいた意見及びその対応状況を紹介した。 	A				
浪速区	①	<ul style="list-style-type: none"> ・区民モニターアンケートの実施（年2回） ・区長が子どもの声を聴く会の開催（中学校・小学校） 	A	14.9%	18.6%	②	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、幅広い区民からの意見を聴取するため区民モニターアンケートを実施するなど多様な区民の意見聴取を行い、地域ニーズに応じた施策や改善に繋げていく。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの声を聴く会等、区民の意見やニーズを把握した会議等については、広報紙やホームページ等で概要を周知。 	A				

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

[取組の実施状況] A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

[成果目標の達成状況] ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

2(2)ア 多様な区民の意見やニーズを区政に反映することのできる仕組みづくり

	3年間の取組状況			成果目標の達成状況			課題と今後の方向性
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)	評価区分	
西淀川区	①	・区政会議やタウンミーティングなどで区民からの意見を聴取して区政に反映した。また、区民モニターアンケートなどでも区民の意見を積極的に聴取した。	A	19.7%	24.6%	②	・区政会議をはじめとする各種の会議やアンケートなどで多くの区民の意見を聴取して区政に反映するとともに、区の事業や取組について広報紙やホームページなどで情報発信を強化する。
	②	・区取組についてホームページやツイッターなどをこまめに更新して情報発信した。 ・また、区長会議などにおいても区取組について情報共有した。	A				
淀川区	①	・意見・ニーズを聴取するため、車座会議や区民モニターアンケートを実施した。特に車座会議は区内全域で行った。	A	16.1%	20.1%	②	・区民意見を求める方法が不十分であった。 ・区民モニターアンケートは、手法や内容を見直す。また、車座会議は各地区から有意義な意見が出ているので継続するなど、多様な区民からの意見を聴くために、更なる充実化を図る。
	②	・区取組をホームページやSNSで発信した。 ・また、市民の声や意見箱に寄せられた意見や相談は可能な限り、直接対応して、区民に区政・市職員の取組を肌で感じてもらい、満足度や区政への関心を向上させるように努めた。	A				
東淀川区	①	・区長との懇談や出前区長、地域担当制、区政会議により、地域実情・課題の情報収集を行うとともに、地域担当内での情報共有を図るため、会議開催や庁内ポータルへの情報掲載を行っている。	A	15.7%	19.6%	②	・取組は進んでいるが、意見やニーズが区政に届いていると感じる区民の割合は低い。更に確実に寄せられた意見情報を担当部署へ伝達、区政への反映を行い、その実績を広く発信していく。
	②	・区政会議をはじめとした区政に関する情報を広報紙、区ホームページ、ツイッターなど様々な媒体を通じて情報発信している。また地域連絡調整会議、地域活動協議会連絡会議の場で地域に周知を行っている。	A				
東成区	①	・地域生活支援システムにおける専門分野別実務者会議を定期的に開催し、各分野の専門機関・関係団体などが情報共有や課題解決に向けた議論を行った。 ・多様な区民の潜在的な意見を収集するために、区民モニターを募集し、アンケートに取り組んだ。 ・区民と区長のタウンミーティングを開催し、直接区民の多様な意見を収集した。	A	18.0%	22.5%	②	・引き続き、区民モニターアンケートを実施し、広く区民の意見やニーズを収集するとともに、結果の情報発信に取り組む。 ・専門分野別実務者会議を開催するとともに、関係機関などと連携し、議論の充実を図る。 ・区民や地域の声を直接伺う仕組みを構築し、区民の潜在的な意見の発掘に努める。 ・区民の意見や評価が区役所に届いていると感じてもらえるよう積極的な情報発信に取り組む。
	②	・区民モニターで回収したアンケート結果を庁舎内で閲覧するとともに、区ホームページ等にも掲載し、広く区民に情報発信する取組を進めた。	A				
生野区	①	・区における施策や事業等、区政について平成24、25年度は「区民モニター」に対して意見等の回答を募り、平成26年度は国籍に関わらず区内に住居登録のある方を無作為に抽出し、「区民アンケート」を行い、意見やニーズを集約した。	A	22.3%	27.9%	②	・サイレントマジョリティの意見を汲み取るための、無作為抽出による区民アンケートは平成26年度から実施しはじめたところであり、引き続き実施しつつ多様な区民のご意見やニーズの推移を区政に反映していく。
	②	・区民モニターや区民アンケートの結果については、そのつど生野区ホームページや広報紙「広報いくの」において周知を行った。	A				

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

【取組の実施状況】 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

【成果目標の達成状況】 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

2(2)ア 多様な区民の意見やニーズを区政に反映することのできる仕組みづくり

	3年間の取組状況		成果目標の達成状況			課題と今後の方向性	
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)		評価区分
旭区	①	<ul style="list-style-type: none"> 市民の声や区民モニター、区政会議等を通じて、幅広く意見を聴くとともに、ニーズの把握に努めた。 市民の声…平成25年度206件、平成26年度184件 区民モニターアンケート実施…平成25年度（5月、9月、2月実施）、平成26年度（5月、10月、2月実施） 区政会議…平成25年度2回（各回において、3部会＋全体会を開催）、平成26年度3回（3部会＋全体会を2回及び全体会を1回開催） 区政会議においては、より一層多様な意見やニーズが区役所に届くように、平成24年度より公募委員の数を増やした構成とし、区政会議による運営方針の評価を行った。 平成26、27年度予算の考え方について、区政会議において説明を行った。 平成25年度には子育て支援施策の一層の充実を目的として、区役所及び区社会福祉協議会があさひ子育てネットワークの事務局となり、そのツールとして乳幼児健診受診状況やかかりつけ医療機関、幼稚園や保育園などの通園、子育てサロンやこども・子育てプラザなどの参加などを記入し、おささんの履歴として残せるカードで、参加店舗においては割引特典などがある「あさひキッズカード」の配布を開始した。平成26年度においては子育て世代の意見をきめ細かく聴取するために、全校下を巡回して意見を聞き、平成27年度予算要求において子育て支援施策の充実を重視した。 	A	14.1%	17.6%	②	<ul style="list-style-type: none"> 「市民の声」などの迅速な対応によって市民意見の反映を強化していく。 区政会議の条例設置により、政策形成段階から意見を聴く仕組みや事後の評価の仕組みが構築されたので、適正に区政会議を運営していく。 地域活動協議会の構成団体の会議や、子育て層の意見聴取を行った結果、子育て支援施策の重要性を認識した。今後は、子育て支援施策の一層の充実を図る。
	②	<ul style="list-style-type: none"> 区民モニターについては、住民基本台帳より無作為抽出した区民に対して依頼を行い、平成21年度より毎年度300名以上の登録をいただき、平成25年度においては5月、9月、2月に、平成26年度は5月、10月、2月に実施した。 インターネット区政会議については、平成25年度は平成26年2月に実施したが、平成26年度は未実施。 区政会議については、開催時に報道発表及び庁前掲示を行うとともに、区ホームページに情報を掲載した。 区長会等の機会を活用して、平成25年度には阿倍野区を参考に施策等の市民への周知を行うとともに、都島区長、淀川区長と窓口民間委託について、民間委託の場合の市民サービスの維持に努めるため、3区で検討を行った。平成26年度には、平成26年12月に執行された衆議院議員総選挙において発生した投票案内状配達遅延などの課題について、今後の選挙を見据えて対応策を協議した。 	A				
城東区	①	<ul style="list-style-type: none"> 区民と区長とが気軽にコミュニケーションができる場をつくり、その内容について区ホームページや広報紙で情報発信した。 サイレントマジョリティなど表面化しにくいものを含め、きめ細かく多様な区民の意見やニーズを的確に把握するため、従来から実施している区民モニターと併せ、無作為抽出による区民アンケートを実施した。 	A	12.8%	16.0%	②	<ul style="list-style-type: none"> 区民ニーズを的確に把握するためには、区運営方針をはじめとする区政情報を区民のもとへ十分に発信することが重要である。 従来の方法にとどまらず、柔軟な発想で、取り組む必要がある。
	②	<ul style="list-style-type: none"> 区広報紙において、「ピックアップ区政会議」という連載コーナーを設け、区政会議の情報を発信している。 	A				
鶴見区	①	<ul style="list-style-type: none"> 幅広い意見を効果的に把握するため、無作為抽出による区民1,500人を対象に区民アンケートを年4回（平成24年度は3回）実施。 	A	22.9%	28.6%	②	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年度平均回答率38.2% さまざまな意見を反映しているといった実感が持ちにくい。 回答率をあげるために、引き続き質問内容形式等を工夫する。 寄せられた意見を反映した内容、改善された事例を広報紙や区掲示板などを活用し、公表を行っていく。
	②	<ul style="list-style-type: none"> 区民アンケートの実施や結果を区のホームページや広報紙、区役所行政情報コーナーで情報提供を行ってきた。 寄せられた意見と回答の事例を広報紙で紹介した。 	A				

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

2(2)ア 多様な区民の意見やニーズを区政に反映することのできる仕組みづくり

	3年間の取組状況			成果目標の達成状況			課題と今後の方向性
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)	評価区分	
阿倍野区	①	・区民の多様な意見やニーズをよりの確に把握するため平成26年度から区民モニターアンケートについて公募から無作為抽出に実施方法を変更した。 ・また、アンケート結果については、広報紙やホームページ等で公表した。	A	15.7%	19.6%	②	・取組は実施したが、成果目標の達成には、至っていない。またアンケートの回収率も低くなっている。 ・今後は、ツイッター等でアンケートへの協力を呼びかけ、回収率を高めるとともに、長期的に継続した情報発信を行う。
	②	・区政の重点課題や区民の生活に関係の深い問題等に関するアンケート調査を行い、区民の意見やニーズを把握した。 ・また、広報についてのアンケート調査を実施し区民ニーズを把握した。 ・なお、広報紙については、新たな広報拠点として区内の銀行・スーパーなどに配架し、区民が区政情報を手にする機会を増やした。	A				
住之江区	①	・こどもの見守り事業の推進に向けて発足した「まちの危ないうかがい隊」の特性を活かし、街頭に出向く等して防犯に関するアンケートを実施することにより、区民や保護者の多様なニーズを把握し、区民の目線に立った「まちの危ないポイント」や改善点等を見出し、地域と一体感のある効果的な見守り事業を確立した。また、住之江郵便局と「子ども110番の家」に関する協定を締結し見守り事業を補完した。 ・区政会議全体会及び部会を開催し、各部会で話し合われた内容について、予算及び運営方針に反映させた。区政会議委員には、公募で選ばれた区民の方に就任いただいた。また、イベントでの参加者アンケートや、区民モニターアンケート等による満足度調査を行った。	A	18.0%	22.5%	②	・街頭啓発活動及び意見やニーズを反映させた取組に関する実態を区民に広く認知いただく手法として、地域活動に区長自らが訪問する等し、対話を通じて活動の改善や支援を実施。地域の活動内容について広報紙・ホームページ等で広く情報発信し、区長が「区長日記」等で自ら情報発信に努めることで区民の区政への関心を高める。
	②	・区長自らが防犯事業に参加し、その活動内容を「区長日記」で紹介し、また、区で発行する防犯に関する広報紙・ホームページ等においても広く情報発信した。 ・区政会議の議事録などを区ホームページに掲載し、情報発信を行った。	A				
住吉区	①	・不特定多数の区民意見をスピーディーかつ低コストでデータとして収集でき、集計・分析作業がスムーズに行えるといったメリットを活かし、区民意見をよりの確な施策実施につなげていくため、手法や分析方法の精査も行いながら、インターネットを活用した区民意識調査を実施してきた。 ・また、区民にインターネット調査結果を公表するとともに、声なき声なども含めた多様な区民の意見やニーズの把握を行い、区の施策や事業に反映した。	A	18.3%	22.9%	②	・区民意識調査の活用は、一定区民の評価を得ており、仕組みづくりの方向性は適正と考える。 ・区民意識調査や区政サポーターによる意見交換会の実施における結果を検証し、仕組みの定着・改良を図る。
	②	・取組について広報紙やホームページをはじめ様々な媒体を活用し、積極的な情報発信を行うとともに、区長会議等で情報共有を行った。 ・区政に対する区民の生の声を聴くため、区政サポーターとして登録いただいた方の意見交換会を開催。	A				

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

〔取組の実施状況〕 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

〔成果目標の達成状況〕 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった

2(2)ア 多様な区民の意見やニーズを区政に反映することのできる仕組みづくり

	3年間の取組状況		成果目標の達成状況			課題と今後の方向性	
	取組番号	取組内容	実施状況	26年度実績(B)	達成率(B/A)		評価区分
東住吉区	①	<ul style="list-style-type: none"> ・庁舎内に「なでしこアイデア箱」を設置し、随時意見を募集している。 ・平成25年度は区民モニター以外に、無作為抽出の区民等を対象にアンケート調査(東住吉区での暮らしと地域のつながりに関する調査、大阪市東住吉区内における交通・移動に関するアンケート調査、大阪市東住吉区民等のスポーツ意識調査)を実施した。 ・平成26年度から、公募含む約200名の区民モニターを廃止し、無作為抽出の区民1,500名に対する区民アンケートに変更、実施した。 	A	13.3%	16.6%	②	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度末に発行した区広報紙の増刊号で一定の手ごたえを得たので、引き続き、広報紙とは別の媒体や場づくり等による情報伝達手段の構築に取り組む。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年度に区政会議で出された意見について、区民アンケート実施時に参考資料として無作為抽出の区民1,500名に郵送したほか、区内の主要駅等で配架した。また、クリスマスの時期限定で、区民ギャラリーを活用し、主な市民の声や区政会議で出された意見を掲示した。 ・区ホームページにおける区民モニターのコーナーに、さまざまなアンケート調査のリンクを貼り、一元的に情報検索できるようにした。 ・平成26年度末に、区政会議で出された意見などを掲載した広報紙の増刊号を発行し、区内居住者を対象に各戸配付した。また、任意ではあるが、増刊号上でアンケートを行い、100名を超える方から意見を頂戴した。 	A				
平野区	①	<ul style="list-style-type: none"> ・区民ニーズを把握し、より区政に反映させるための仕組みとして「まちづくり推進室」(政策推進課・まちづくり協働課)を創設し、多様な区民の意見やニーズを的確に把握できる機能の拡充を図った。 ・区職員が担当業務等において把握した日常的な区民ニーズを市民要望担当(まちづくり協働課)にて集約し、適宜対応を行うとともに、区民モニターアンケート及び高齢者層や子育て層などの課題別対象者へのアンケートや区政へのご意見箱「清美ちゃんポスト」の設置により、地域実情や特性の的確な把握や多様な区民による評価をしてもらえるよう努めた。 ・幅広い区民の声を区政に反映できるよう、委員構成などを再構築した区政会議と、個別の課題をテーマとする部会の下に設け、区政に関する意見や事業の評価を伺い、区政に反映できるものについては速やかに取り組むことで、区政運営を計画段階から評価段階にいたるまで多様な区民が参画できる仕組みを構築した。 	A	17.4%	21.8%	②	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な意見やニーズが区役所に届いていると感じている区民の割合を向上を図るため、区政会議において各委員が発言しやすいような仕組みづくりを行うとともに、区政へのご意見箱「清美ちゃんポスト」で区政に関するアイデアを募集するなどの取組を進め、多様な区民の意見やニーズを的確に把握できる仕組みづくりに努める。 ・市民要望担当で把握した区民ニーズ等について、区政により多く反映し、より迅速に解決を図る必要があるため、区役所内の各課はもちろんのこと、関係局や事業所との連携を強化・促進していく。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・区政会議の全体会及び部会、区政へのご意見箱「清美ちゃんポスト」等で得られた多様な意見について、区政に反映できるものは速やかに取り組むとともに、ホームページ、広報板等への掲載のほか、広報紙に区民よりいただいたご意見とその対応内容を紹介する特集を組むなど、広く情報発信した。 	A				
西成区	①	<ul style="list-style-type: none"> ・区政会議を定期的に開催するとともに、「西成特区構想部会」と「情報発信部会」を開催することでより議論を深めた。「あいりん地域のまちづくり検討会議」を平成26年度6回開催し、あいりん地域の今後のまちづくりについて、市長が方向性を示すにあたり、地域の実情に基づいた意見をうかがうために開催した。 ・また、「幼稚園民営化」、「学校選択制」、「中学校給食」について、関係者の意見交換会や説明会等を開催するなど効果的な仕組みを構築した。 	A	18.5%	23.1%	②	<ul style="list-style-type: none"> ・区の地域実情や特性に応じた効果的な仕組みとして、区政会議及び部会を開催し、その情報については、広く知っていただくため、区広報紙やホームページ等で情報発信していく。
	②	<ul style="list-style-type: none"> ・区の地域実情や特性に応じた効果的な仕組みとして、区政会議及び部会を開催し、その情報については、広く知っていただくため、区広報紙やホームページ等で情報発信した。 	A				

【実績】 区民(市民)、職員等の割合は、区民(市政)モニターアンケート、世論調査、職員アンケート等の結果に基づく。

【達成率】 実績値を目標値で除して算出。

【評価区分の凡例】

【取組の実施状況】 A：実施できた B：一部に実施できない取組があった C：実施できなかった

【成果目標の達成状況】 ①：成果目標を概ね達成できた ②：成果目標を達成できなかった